

最...近...の...統...計

縣下の水産總價額は

一千百四十六萬餘圓

前年に比較すると六百萬餘圓の減少

漁船の數も減少を示す



昭和十二年に於ける縣下の水産物總價額は一千百四十六萬三千四百八十八圓でその種類別内譯は沿岸漁獲物四百六十九萬六千九百七十五圓、遠洋漁業百十三萬三千七百七十七圓、水産養殖二十三萬三千五百九十圓、水産製造物五百三十九萬六千六百六圓である。之を前年と對比すれば總價額に於て六百萬八千四百三十二圓(三割四分三厘)沿岸漁獲物百五十五萬一千七百七十五圓(二割四分八厘)遠洋漁業八十二萬九千四百六十二圓(四割二分三厘)水産製造物三百七十六萬七千四百五十七圓(四割一分一厘)を何れも減少し、水産養殖だけは十三萬九千

六百六十二圓(四割八分七厘)を増加した。而して總價額を郡市別に見れば多賀郡の三百二十八萬三千六百九十七圓が第一位を占め、之に亞ぐものは鹿島郡の二百八十三萬五千五百十圓、久慈郡の百九十八萬一千四百八十五圓、那珂郡の百八十六萬三千六百四十二圓、東茨城郡の六十三萬五千百圓、新治郡の四十四萬四千四百三十六圓、行方郡の二十八萬五千三百三十三圓で其の他十萬圓に満たないのは稲敷、猿島、北相馬、眞壁、結城、筑波、水戸、西茨城各郡市の順位である、之を種類別、郡市別に示せば左の如くである。

郡市別	總價額		沿岸漁獲物		遠洋漁業		水産養殖		水産製造物	
	額	順位	額	順位	額	順位	額	順位	額	順位
東茨城	2,551,000	5	2,445,111	5	26,889	3	110,901	1	1,125,099	6
西茨城	1,110,000	15	1,050,000	15	—	—	60,000	9	—	—
那珂	1,035,633	4	1,000,000	4	35,633	1	733	3	5,250	4
久慈	1,967,455	3	1,977,768	3	3,013	5	9,686	8	1,000,569	3
多賀	3,333,677	1	3,177,377	1	156,300	2	2,000	4	1,176,133	1
鹿島	2,283,350	2	2,137,066	2	146,284	4	1,990,782	2	4,472	7
行方	2,651,333	7	2,597,000	6	54,333	10	7,333	7	—	—
稲敷	695,000	8	677,000	8	—	—	18,000	10	7,000	8
新治	1,400,000	6	1,400,000	7	—	—	—	—	—	—
筑波	660,000	11	550,000	11	—	—	110,000	5	—	—
眞壁	2,280,000	10	2,100,000	10	—	—	180,000	6	—	—
結城	2,280,000	11	2,100,000	11	—	—	180,000	6	—	—
猿島	3,113,000	9	2,670,000	9	—	—	443,000	3	—	—
北相馬	2,280,000	12	2,280,000	12	—	—	—	—	—	—
計	22,400,000		22,400,000		1,113,177		3,330,500		5,250,600	

而して昭和十二年に於ける漁撈、養殖、製造に従事した縣下水産業者は二萬六千三百四十人(男二萬七百七十二人、女五千五百六十八人)で本業一萬四千四百五十五人、副業一萬一千八百八十五人となり従業別に見れば漁撈一萬八千三百八十四人、養殖三百六十七人、製造七千五百八十九人、業主、被傭者別にすれば業主八百三十四人、被傭者一萬八千二百六人である。

は六百四十六隻、動力を有しないもの五千七百四隻であり、年内新造船數は三百六隻、年内廢用船數は四百二十隻で之を前年に比較すると年末現在船數で百五十二隻、年内新造船數で百五十一隻、年内廢用船數で七十九隻の何れも減少を示してゐる。更に漁船數の郡市別は左の如くである。

- △水戸一八△東茨城七八一△西茨城〇△那珂六四六△久慈二六九
- △多賀八六〇△鹿島一、二四△行方八五四△稲敷八一△新治
- 九五五△筑波一六△眞壁五八△結城二九△猿島一六五△北相馬一
- 二四